

盥製作

〔類聚名義抄水〕手洗タラヒ 〔同皿〕盥管、貫二音、タラヒ、 淋盥水海同 盥タラヒ

〔伊呂波字類抄太物〕盥_{タラヒ} 淋_{手也} 水海 植 手洗同

〔蓮步色葉抄多_{タラ}盥_{タラ}〕盥

〔延喜式十_七内匠〕伊勢初齋院裝束

手洗一口、徑一尺七寸、料漆一升、絹一尺、綿八兩、細布三尺、調布四尺、掃墨五合、燒土六合、炭五斗、單功七人、

〔延喜式主計二十四〕其畿内輸雜物者、略中 手洗盤二口、尺二

〔延喜式木工三十四〕手洗径一尺五寸、深五寸、長功三人、中功三人半、短功四人、

〔御產所之記〕たらひ、これもゑを畫くなり、松、竹、鶴、龜、白こをぬり、その上にきらゝにてかくなり、一白だらひ二つ、ゑやうは御たらひに同じ、

〔細純集〕御產所之式

一御產湯盥 三ツ白繪

内一つ御腰溜盥、一つ御胞衣洗盥ニ用、其跡御むつき洗ニ被用之、略中

湯殿道具

一盤大中小 手桶二ツ

一柄杓二本 湯次二ツ、略中

右何茂白繪也

〔菜花物語三十七〕大納言房○師よりはじめたてまつりて、捧物とりつゝきたり、いみじく見所あり、
めでたきことになんありける○中春宮○後のは、かねの水瓶たらゐやがてすけなかの弁女御
殿○歎のはきやうだいの鏡、あついゑの少將もたり、○忠俊の前少將、前齋院子娟のはたらゐ